

第2回 校長会議あいさつ

R2.4.22 稲垣

桜の季節が儚く過ぎ去ってしまいました。別れと出会いに潤むはずの春の宵も妙に乾いたよそよそしさを感じさせます。新型コロナウイルスの感染拡大は世の中全体を陰らせていますが、そんな人間界の混乱はどこ吹く風とばかりに自然は逞しく、花々は彩を増し、木々は若葉を広げています。私たちにも一刻も早く春が訪れることを願うばかりです。

小中学校は4月8日以来の臨時休校を緊急事態宣言に伴い5月6日まで延長しましたが、今のところ、その後再開できる確かな見通しがあるとは言えません。縮減したり校内放送に頼りながらも入学式と始業式のできたことが救いですが、休校が長期化している今、子どもたちの学習面はもとより心身の健康面でも心配が募ります。

各学校では、度重なる火急の指示に足並みを揃えながら迅速に対応していただきありがとうございました。市内全小学校義務教育学校での自主登校教室の開設、家庭訪問・電話連絡等による学習指導や生活指導に加えて、万一に備えて二分の一在宅勤務もお願いしました。学校によっては人手の足りない中での遣り繰りとなってしまうかもしれませんが、趣旨を周知していただきご尽力をお願いします。

本日は学校を再開する場合の確認ということでお話しします。以下の4点です。

- 全児童生徒の学校生活の安全と保護者の安心を担保すること
- 登校時に注意深く児童生徒の心身の状況把握に努めること
- 再開時期に合わせて学習計画・年間計画を準備すること
- 開始当初は、特に児童生徒同士、児童生徒と教師の信頼関係づくりに努めること

以上ですが、今後の感染状況によって、対応が変更されたり追加される可能性もあります。また、各項目の具体策については、教育委員会からも適宜指示や依頼をしていく予定です。大変な労力を要する業務が増えますが、保護者や地域の協力も得ながら、教職員全員の力を結集しての対応をお願いいたします。